◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.375　（2023年度No.3）**　 　2023/1/20

食の行政情報ならびに食中毒情報をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆雪が積もっている街の様子

中程度の精度で自動的に生成された説明

世界遺産に登録されている岐阜県白川村の合掌造り集落「白川郷」で１５日、恒例のライトアップが始まった。午後５時半頃に照明がともると、伝統的なかやぶき屋根の家屋が霧の中に浮かび上がった。

（時事通信社）

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係) | **2-6** |
| 1. [**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **6-11** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **11-12** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **12-20** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **20-22** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **22-31** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

1月13日　　かわら版374号・かわら版ニュース＆トピックス301号を発行

1月17日　　かわら版ニュース＆トピックス302号を発行

1月17日　　第8回運営委員会・常任理事会開催

1月20日　　かわら版375号・かわら版ニュース＆トピックス303号を発行

**研修等のご案内**

**HACCP制度化への対応は自主的な衛生検査から！**

**様々なメーカーのATP検査キットやタンパク検出キット、簡易培地、アレルゲン検査キット、**

**携帯形微生物観察器を実習で体験してみませんか？**

**開催日程が決定いたしました‼　受講申込受付中!!**

**第9回 HACCP導入へ向けた迅速検査実習**

主催　　迅速検査研究会

（ATP・迅速検査研究会は2022年11月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**当研究会の川崎晋会長による自主衛生管理をテーマとした講義、当会理事によるATPふき取り検査や簡易培地に関する講義の他、実際にATPふき取り検査などの操作や、簡易培地の観察などを体験していただきます。**

**また、皆様の日頃のお悩みにお応えするディスカッションの場も設けます。**

HACCP制度化の動きもあるので、

それに対応して自主検査の充実を図りたい！　**でも……。**

「微生物検査を実施しているが、今後は簡易・迅速に

検査ができる培地の導入も検討している」

「簡易・迅速検査で悩みや再確認したいことがあるけど、

社内で相談できる相手がいない」

「ATPふき取り検査の正しい使い方を知りたい」

「アレルゲン検査を始めたいけど、何から始めれば……？」

**そんなお悩みをお持ちの検査担当者・品質管理担当者様へ、**

**座学と実習をご提供します！**

**迅速検査を未経験の方も大歓迎！**



**■開 催 日 時：**

**2023年3月1日（水）9時55分～17時20分 予定**

**受付開始　9時30分～**

※新型コロナウイルス感染症の状況によって中止・延期となる可能性がございます。予めご了承ください。

**■会　　　場：一般財団法人東京顕微鏡院・豊海研究所（東京都中央区豊海町5-1）**

**■定　　　員：16名**

※定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

※申込多数の場合は、企業・団体の検査担当者の方を優先させて頂く場合があります。

※大学・専門学校の学生の方もお申し込みも可能です。

※感染防止対策としてマスク着用、手指消毒、体温測定などにご協力をお願いします。

**■受　講　費：賛助会員・法人会員8,000円、一般10,000円**

**（テキスト代・白衣・シューズカバー代込み）**

※テキストとして当会15周年記念誌「現場のためのATPふき取り検査マニュアル」を配布します。

※受講者には修了証を発行いたします。

※公定法などの一般的な食品微生物検査の技術を習得する実習ではありません。

**主な内容 （予定）**

|  |
| --- |
| 【講義】HACCPにおける自主検査の位置づけ、簡易・迅速検査の役割など  【講義・実習】手洗い講習  ※実習では、手洗いチェッカーを用いた手洗い効果の確認を体験していただきます。  【講義・実習】ATP ふき取り検査、タンパクふき取り検査、アレルゲン検査、微生物培地の基礎、など  ※実習では、ATP ふき取り検査とタンパク質検出キット、アレルゲン検査キット、携帯形微生物観察器の操作を体験していただきます。  また、簡易・迅速培地で培養した一般生菌、大腸菌・大腸菌群などの観察を体験していただきます。  【質疑応答】事前に受け付けたご質問や、研修会を通じてのご質問などにご回答いたします。 |

**〔検査資材・試薬提供（予定）〕**

|  |  |
| --- | --- |
| **★微生物検査培地** | アヅマックス、栄研化学、エルメックス、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、  日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★ATPふき取り検査** | エア・ブラウン、キッコーマンバイオケミファ、ネオジェン ジャパン、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★タンパク／アレルゲン検査** | アヅマックス、エア・ブラウン、ネオジェン ジャパン、日水製薬、ニッタ、フォス・ジャパン |
| **★携帯形微生物観察器** | mil-kin |
| **★手洗いチェッカー** | 東京サラヤ |

参加者からは「色々なキットを体験できてわかりやすかった」「講義も実習も今後の参考になると思う」「これまで現場で使っていたが、疑問点が解消できた」「これから迅速検査を導入するので、社内で情報共有したい」など、迅速検査の初心者から熟練者まで、幅広い層に好評なイベントです

**申込み方法**

**下記の6項目を明記の上、下記へE メールにてお申込みください。**

**1．所属・役職、2．住所、3．氏名（ふりがな）、 4．E - mail、5．電話番号、6．会員or一般**

※当会の賛助会員・法人会員企業と機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります。

Ｅメール： [info@ATP-jinsokukensa.com](mailto:info@ATP-jinsokukensa.com)

**↓ウェブサイトからお申込みいただけます。**

****<https://onl.bz/btmdNs6>

**↓QRコードからもお申込みいただけます。**

講義の後、様々な検査キットを体験して頂きます。

沢山の検査キットが一堂に会する、この機会をお見逃しなく！



**お問い合わせ**

迅速検査研究会（ATP・迅速検査研究会） 事務局担当：立石（たていし） ＴＥＬ：０９０－２９０７－５４５６

**個人情報保護／**お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、ご本人様の承諾を得ることなく、ATP・迅速検査研究会以外の目的で第三者に提供、開示することはありません。

**利用目的／**お預かりした個人情報は、ご入会・ご継続時の申込管理、ATP・迅速検査研究会のセミナー・勉強会のご紹介、及びこれらに関する各種イベント等のご案内に使用させて頂く場合がございます。

迅速検査研究会 （ATP・迅速検査研究会）

第47回講演会「迅速検査の今日的意義」ご案内

迅速検査研究会　会長　川﨑 晋

迅速検査研究会は2023年2月15日（水）、東京の月島社会教育会館で第47回講演会「迅速検査の今日的意義」を開催します。ふるってご参加ください。(現地参加＆オンライン配信)

（ATP・迅速検査研究会は 2022 年 11 月に「迅速検査研究会」に改称しました）

**プログラム（予定）**　2023年2月15日（水）（開場12：00～、開演13：00～）

|  |  |
| --- | --- |
| 12：00～13：00 | **受付**※受付スタッフにお名刺を 1 枚お渡しください。  会場ロビーにおいて、迅速検査関連の資材の展示を行っております。 |
| 13：00～13：10  （10分） | **【主催者あいさつ】 研究会の名称変更と簡便・迅速検査今後の展望**  迅速検査研究会 会長　**川﨑 晋**　先生  （国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）食品研究部門） |
| 13：10～14：00  （50分） | **【基調講演】 HACCPにおける自主衛生検査と環境検査**  迅速検査研究会 副会長　**森 哲也**　先生  （一般財団法人法人 東京顕微鏡院 食と環境の科学センター 微生物検査部） |
| 14：00～14：30  （30分） | **【講演】 県内食品企業の食品保存性向上を目的とした衛生管理および食品開発支援**  福岡県工業技術センター 生物食品研究所 食品課　**田﨑 麻理奈**　先生 |
| 14：30～14：45 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション①】** 日水製薬株式会社 |
| 14：45～15：05 | 休憩・展示　（会場ロビーにてATP・迅速検査の関連資材の展示を行っております） |
| 15：05～15：20 | **【迅速検査研究会 賛助会員プレゼンテーション②】** ネオジェン ジャパン株式会社 |
| 15：20～16：10  （50分） | **【講演】 簡便・迅速検査を活用した医療施設における感染／衛生検査**  ワタキューセイモア株式会社 メデイカル営業本部 学術担当部長　**伏見 了**先生  （東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 客員准教授） |
| 16：10～17：00  （50分） | **【教育講演】食品リスクとの科学的な向き合い方**  **～食の信頼を確保するスマート・リスクコミュニケーション**  特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会（SFSS）理事長　**山崎 毅**先生 |
| 17：00～17：20 | **総合討論**（閉会後も会場ロビーにて関連資材の展示を行っています） |

※開演前、休憩時間、閉会後に簡便・迅速検査に関する展示を行っています。ごゆっくりご覧ください。

**【会場】** 月島社会教育会館 （〒104-0052 東京都中央区月島 4-1-1、月島区民センター）

**【定員】** 会場 100 名 ／ ウェブ（ ＺＯＯＭ ）視聴 100 名

**【受講費】** 賛助会員企業・法人会員企業 1,000 円、一般 3,000円 （※事前登録をお願いします）

**【お申し込み方法】**

以下の7項目を記入し、下記メールアドレスまでお申し込みください。

1．所属・役職、2．住所、3．氏名、4．E-mail、 5．電話番号、 6．会場聴講／ウェブ聴講の別、

7．会員／非会員の別　（当会の賛助会員・法人会員、機能水研究振興財団関係者は会員扱いとなります）

**【申し込み・問い合わせ先】**[info@atp-jinsokukensa.com](mailto:info@atp-jinsokukensa.com)

**【Google Formからもお申し込み頂けます】**<https://onl.bz/xyRMA6K>

**QRコードからもお申込みいただけます**

**【会場での感染対策について】**

会場内では新型コロナウイルス（COVID-19）感染予防にご協力をお願いします。

・受付時の検温ならびに手指消毒にご協力ください。

・検温の結果、37.5℃以上の場合は、参加をご遠慮いただく場合があります。

・感染症の流行の状況によってオンライン配信のみになる場合があります。

**【会場アクセス】**

・地下鉄 月島駅 10 番出口（都営大江戸線、東京メトロ有楽町線）

・都バス 月島三丁目

・江戸バス（コミュニティバス） 月島区民センター

**『食品加工機械に関連する「食品の不具合」と改善提言』**

【開催日時】2023年2月18日（土）13：30～16：20

【主　旨】

食品加工機械や構成部品の破損による異物混入、包装不良による食品汚染など、食品加工機械に起因した 「食品の不具合」は食品リコールの対象となり、食品メーカーはリコールにより、莫大な経済的損失を被 る可能性があります。

また、2020 年の食品衛生法の改正にともない、我が国の食品産業界において HACCP システムが制度化されました。

同システムを構築するためには、全フードチェーンに渡る「前提条件プログラム(PRP)」の適用が不可欠であり、食品製造者の PRP には食品加工機械の衛生設計も含まれます。

そのため、食品加工機械に関連する「食品の不具合」に関する関心は高まっていますが、「食品の不具合」の原因、および改善するための施策はあまり知られていません。

今年の市民フォーラムは、食品加工機械に関連する食品の不具合について、具体的なケースを交えて紹介するとともに、それら不具合を改善するための施策について紹介いたします。

**プログラム：**

13：30～13：40 ご連絡 / 開会挨拶

13：40～14：20 講演

『食品加工機械に関連する衛生面の不具合について』

（大阪公立大学 食品安全科学研究センター 日佐 先生）

14：20～14：25 質疑応答

14：25～14：35 休憩

14：35～15：15 講演

『食品加工機械由来の異物混入をテーマにした不具合事例と改善提案』

（元 キューピー㈱ 野呂様）

15：15～15：20 質疑応答

15：20～15：30 休憩

15：30～16：10 講演

『食品のプラスチック製容器包装の不良による自主回収の原因と対策を考える』

（元 生活協同組合連合会ユーコープ事業連合 藤平様）

16：10～16：15 質疑応答

16：15～16：20 閉会挨拶

［備考：終了時間は多少前後する可能性があります。］

会場 オンライン開催

参加費　無料（定員：90名）申込締切 2023年2月11日（土）

【申込方法】

以下のURLから2023年2月11日（土）までにお申込み下さい。

URL：<https://jsme22-143.peatix.com>

本セミナー参加のためのURLはお申込み頂いたメールアドレスへ開催日3日前までに通知いたします。

【お申込の際の注意事項】

はじめてPeatixを利用される方はお申込み前にPeatixアカウントを取得（新規登録）していただく必要がございます。 （Peatixアプリのダウンロードは必須ではありません．）

本ページにある「チケットを申し込む」をクリックし、必要事項をご入力の上、申込みのお手続きをお願いします。

お一人ずつ個人単位でのお申込みをお願いします。

お申込内容は、PeatixアカウントもしくはPeatixより配信されるお申し込み詳細メールからご確認いただけます。

メールが届かない場合は、「peatix.com」からのメールを許可するように受信設定をお願いします。

コメント欄およびメッセージ機能でのご連絡には返信できかねますので、下記の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

参加者による、セミナーの静止画/動画撮影，録音は禁止です。

「レコーディング」ボタンで録音することは法律で禁止されています。

当日の発表の音声、スライドの著作権は発表者に帰属します。

◎当日ご参加に必要なもの

視聴用のパソコン＊必須

スピーカーとマイク（質問をする際に必要となります）

有線または無線ブロードバンドのインターネット接続＊必須

※必ず前日までに機材の事前準備と動作確認をした上でご参加下さい。

Zoomで参加の際には、参加者氏名、会社名（勤務先名、学校名）を表示いただきます。

【問合せ先】

〒162-0814　東京都新宿区新小川町4番1号 KDX飯田橋スクエア2階

日本機械学会（担当職員　中嶋 勇輝）

電話03-4335-7614

E-mail: [y.nakajima@jsme.or.jp](mailto:y.nakajima@jsme.or.jp)

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★***Link***インフルエンザの発生状況**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html>

**★***Link***インフルエンザに関する報道発表資料 2022/2023シーズン**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00010.html>

**★***Link***インフルエンザ流行状況レベルマップ**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/tokuteisessyu_iryou_00003.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**★***Link***2022年3月31日　国立国際医療研究センター　COVIREGI-JPダッシュボード**

COVID-19 レジストリ研究　“ダッシュボード” 本データの注意点  
<https://www.ncgm.go.jp/pressrelease/2021/20220331.html>  
ダッシュボード  
<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNGJlMmZmNDctMDk0NC00MjkwLTk0NDgtYmM1MGFkYjNhN2RiIiwidCI6IjZmOGFmOWFkLTU2NDctNGQ2My1hYjIxLWRiODk0NTM3MzJmNyJ9>  
NCGM COVID-19 治療フローチャート（中等症以上成人) <https://www.ncgm.go.jp/covid19/pdf/20220322NCGM_COVID-19_Flow_chart_v5.pdf>

**■***NEW***サル痘の患者の発生について　2023/1/19**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30346.html>

　　発疹の症状を示し、サル痘への罹患が疑われた男性１名に関して検査の結果、サル痘の患者と確認されたことが、本日、東京都から報告されました。

我が国では、サル痘は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）において、４類感染症に指定されており、届出義務の対象となっています。

患者に関する情報は、以下のとおりです。

テーブル が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■令和４年度「職場における化学物質規制の理解促進のための意見交換会」 （リスクコミュニケーション）の開催について　2023/1/12**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30189.html>

**■「エボラ出血熱について」のホームページを更新しました　2023/1/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708.html>

**■第103回コーデックス連絡協議会(開催案内)　2023/1/10**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_29537.html>

　　厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、令和5年1月31日 （火） に、コーデックス委員会における活動状況の報告と検討議題に関する意見交換を行うため、「第103回 コーデックス連絡協議会」を開催します。なお、今回は、ウェブ上での傍聴を受け付けます。

記

1 開催概要

(1) 厚生労働省、消費者庁及び農林水産省は、コーデックス委員会（※）の活動及び同委員会での我が国の活動状況を、消費者をはじめとする関係者に対して情報提供するとともに、検討議題に関する意見交換を行うため、コーデックス連絡協議会を開催しています。コーデックス連絡協議会の委員、活動内容等は、以下のURL ページに掲載しています。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html](%20https:/www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html)

(2) 今回は、令和5年2月に開催される第26回食品残留動物用医薬品部会 （CCRVDF) 及び令和5年3月に開催される第43回栄養・特殊用途食品部会（CCNFSDU) の主な検討議題の説明を行い、令和4年11月から12月にかけて開催された第45回総会（CAC) 及び第53回食品衛生部会 (CCFH) の報告を行い、意見交換を行うこととしています。

※ コーデックス委員会（Codex Alimentarius Commission）は、1963 年にFAO（国連食糧農業機関）とWHO（世界保健機関）が合同で設立した政府間組織です。消費者の健康を保護し、公正な食品貿易を保証するために、国際標準となる食品の規格（コーデックス規格）や基準・ガイドラインなどを定めています。

2 開催日時

日時：令和5 年1 月31 日（火曜日） 13 時30分～16 時

開催形式：ハイブリッド

・委員はAP虎ノ門 Bルーム（東京都港区西新橋 1-6-15 ） またはウェブにて参加

　　　　 ・傍聴はウェブのみ

3 議題

（１）コーデックス委員会の活動状況

ア 今後の活動について

・第26回食品残留動物用医薬品部会（CCRVDF)

・第43回栄養・特殊用途食品部会（CCNFSDU）

イ 最近コーデックス委員会で検討された議題について

・第45回総会（CAC)

・第53回食品衛生部会 (CCFH)

（２）その他

これまでの当会議の議事概要等は以下の URL ページで御覧になれます。 また、今回の会議資料は、令和5年 1 月27 日（金曜日） までに厚生労働省のURLページに掲載するとともに、会議終了後に3省庁のURL ページで公開することとしております。

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/codex/index_00001.html>

消費者庁

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/meeting_materials/review_meeting_001/>

農林水産省

[https://www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html](%20https:/www.maff.go.jp/j/study/codex/index.html)

4 傍聴可能人数　 100 名程度

5 傍聴申込要領

（１）申込方法

電子メールにて、以下のお申込先に、｢第103回コーデックス連絡協議会｣ の傍聴を希望する旨、御氏名（フリガナ）、御連絡先 （電話番号、電子メールアドレス） 、勤務先・所属団体等を明記の上、お申込み下さい。（電話でのお申込みは御遠慮願います。 また、消費者庁 食品表示企画課及び農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課ではお申込みをお受けできません。）

＜電子メールによるお申込先＞

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課 宛て

電子メールアドレス：[codexccp@mhlw.go.jp](mailto:codexccp@mhlw.go.jp)

（２）申込締切等　令和5年1 月24日（火）17 時必着です。

希望者多数の場合には、各社・各団体から1名までとさせていただきます。その上で、定員に達した場合は締め切らせていただきます。

傍聴の可否については、1 月25 日（水）までに御連絡します。

（３）傍聴される皆様への留意事項

次の留意事項を遵守してください。これらを守られない場合は、今回および今後の傍聴をお断りすることがあります。

・ウェブ会議を撮影、録画・録音をしないこと

・ウェブ会議用の URL を転送したり SNS で公開したりしないこと

・その他、事務局職員の指示に従ってください。

（４） その他

・傍聴等に係るインターネット通信料は、参加者の負担となります。

・安定したネットワーク環境の利用を推奨します。

・ネットワークの回線状況や Wi-Fi 環境により動作に支障が出る場合がございますので、あらかじめ御了承ください。

・お申込みによって得られた個人情報は厳重に管理し、御本人への連絡を行う場合に限り利用させていただきます。

お問い合わせ先

厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生･食品安全企画課

担当者：国際食品室 佐々木、海老名

代表：03-5253-1111（内線2405）FAX：03-3503-7965

消費者庁 食品表示企画課　担当者：宗、横田、名達

代表：03-3507-8800 (内線2316)FAX:03-3507-9292

農林水産省 消費・安全局 食品安全政策課　担当者：国際基準室 織戸、堀米、押川

代表：03-3502-8111 (内線4471)ダイヤルイン：03-3502ｰ8732

FAX:03-3507-4232

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３２４報）　2023/1/17**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30289.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１３２３報）　2023/1/17**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30188.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１３２２報）　2023/1/10**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_30047.html>

　２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

　　　※ 基準値超過　８件

　　　No. 39 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 110 Bq / kg )　塙町

　　　No. 40 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 220 Bq / kg )　相馬市

　　　No. 41 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 260 Bq / kg )　古殿町

　　　No. 43 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 120 Bq / kg )　福島市

　　　No. 44 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 230 Bq / kg )　福島市

　　　No. 49 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 170 Bq / kg )　石川町

　　　No. 52 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 460 Bq / kg )　福島市

　　　No. 53 福島県 　　イノシシ肉 　　（Cs ： 500 Bq / kg )　福島市

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.mhlw.go.jp%2Fcontent%2F11135000%2F001030127.xlsx&wdOrigin=BROWSELINK>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.2/ 2023（2023.1.18）　2023/1/18**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202302m.pdf>

**目次**

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 国際食品安全当局ネットワーク（INFOSAN）2022 年第 3 四半期報告（2022 年 7～9月）

**【汎アメリカ保健機構（PAHO）】**

1. コレラの流行に関する更新情報（2023 年 1 月 4 日付）

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. 米国の複数州にわたり発生した原因食品不明の大腸菌 O157:H7 感染アウトブレイク

（2022 年 10 月 4 日付最終更新）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【英国食品基準庁（UK FSA）】**

1. リステリア（Listeria monocytogenes）感染アウトブレイクに関連して回収されている燻製魚に関する消費者向け注意喚起

**【ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）】**

1. チュニジアで食品安全危機対応に関する演習を実施

**【オランダ国立公衆衛生環境研究所（RIVM）】**

1. オランダの腸管感染症および人獣共通感染症に関する 2021 年次報告書

**【ProMED-mail】**

1.コレラ、下痢、赤痢最新情報（02）（01）

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.2/ 2023（2023.１.18）　2023/1/18**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202302c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【EC】 グリホサート：認可期間の延長について**

植物保護製品（農薬）の有効成分グリホサートの認可は 2022 年 12 月 15 日に失効する予定であったが、その更新の可否について欧州委員会（EC）は合意できなかった。そのため EC は関連規則に基づき、2022 年 12 月 2 日、グリホサートの認可を 2023 年 12 月 15日まで延長するという委員会実施規則(EU) 2022/2364 を採択した。

＊ポイント：植物保護製品に関する規則(EC)No1107/2009 では、申請者が対処できない理由により、有効成分の認可の更新について決定が下される前に失効する可能性が高い場合には、認可期間を延長するよう定めています。今回のグリホサートについては、科学的根拠となる欧州食品安全機関（EFSA）の評価にかなりの時間を要しており、完了するのが 2023 年 7 月以降になると予測されたため、規則に基づき期限延長となりました。

**【NIH】 スクープ-2022 年 12 月（亜鉛について）**

米国国立衛生研究所（NIH）のダイエタリーサプリメント局（ODS）は、ダイエタリーサプリメントの摂取に関するさまざまな疑問に答えるための簡単な Q&A を定期刊行している。今号のテーマは「亜鉛」について。

**【別添 TGA】ビタミン B 6 を含む健康サプリメントが末梢神経障害を引き起こす可能性がある**

ビタミン B6（ピリドキシン）の摂取は、副作用として末梢神経障害を引き起こす可能性がある。その副作用はすで知られていることだが、オーストラリア TGA の報告書によると、多くの人がそのことを知らず、マルチビタミンやサプリメントにビタミン B6 が含まれていることも気づいていないことが示唆されている。複数のサプリメントを摂るとビタミン B6 の総摂取量が多くなり、末梢神経障害を発症する可能性が高くなる。TGA には、ビタミン B6 を含む製品との関連が疑われる末梢神経障害の報告が 30 件以上届いている。そのため、ビタミン B6 の摂取について注意を喚起するとともに、製品ラベルへの警告表示に関する規則を改訂した。

＊ポイント： 上記 2 つの記事はビタミンとミネラルのサプリメントの摂取に関するものです不足していると思ってサプリメントを摂取している方も多いかもしれませんが、ヒトの生理機能に不可欠であっても過剰摂取による有害影響を生じる可能性もあります。ビタミン B6 に関する TGA の記事は、その点を丁寧にわかりやすく説明しています。

日本人の栄養素の摂取については「日本人の食事摂取基準（2020 年版）」に推定平均必要量、推奨量、耐容上限量などが示されています。各栄養素をどの程度摂取するのが良いのか気になる方は参考にして下さい。

**＊日本人の食事摂取基準**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/eiyou/syokuji_kijyun.html>

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.2/ 2023（2023.１.18）別添　2023/1/18**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2023/foodinfo202302ca.pdf>

● オーストラリア TGA（TGA：Therapeutic Goods Administration)

<https://www.tga.gov.au/>

１．ビタミン B 6 を含む健康サプリメントが末梢神経障害を引き起こす可能性がある

Health supplements containing vitamin B6 can cause peripheral neuropathy

10 November 2022

<https://www.tga.gov.au/news/safety-alerts/health-supplements-containing-vitamin-b6->

can-cause-peripheral-neuropath

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第886回）の開催について　2023/1/19**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

１．開催日時：令和5年1月24日（火）　１４：００〜

２．開催場所：食品安全委員会 大会議室　（港区赤坂５−２−２０ 赤坂パークビル２２階)

３． 議事

　（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

　　　・飼料添加物 １品目（農林水産省からの説明）

　 遺伝子組換え技術によって得られたKomagataella phaffii を利用して生産されたフィターゼ

（２）遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

　・「JPAo009株を利用して生産されたグルコースオキシダーゼ」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）その他

４．動画視聴について

：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、1月23日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、1月24日（日）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和4年12月10日から令和4年12月23日）2023/1/12**

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2022&from_month=12&from_day=10&to=struct&to_year=2022&to_month=12&to_day=23&max=100>

**４．****[農水省関係](C:\\Users\\chichi2\\AppData\\Roaming\\Microsoft\\Word\\農水省関係)**<https://www.maff.go.jp/>

**★***Link***ウクライナ情勢に関する農林水産業・食品関連産業事業者向け相談窓口**

<https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/sodan.html>

**■***NEW***大分県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内60例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230119.html>

　　大分県佐伯市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内60例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N2亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）大分県佐伯市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内60例目、1月17日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N2亜型であることが確認されました。

**■***NEW***滋賀県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230119_2.html>

　　本日（1月19日（木曜日））、滋賀県大津市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内61例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：滋賀県大津市

飼養状況：約4,000羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月18日（水曜日））、滋賀県は、同県大津市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月19日（木曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***群馬県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/19**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230119_1.html>

　　本日（1月19日（木曜日））、群馬県前橋市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内62例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：群馬県前橋市

飼養状況：約45万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月18日（水曜日））、群馬県は、同県前橋市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月19日（木曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***福岡県糸島市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内40例目及び48例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230118_8.html>

　　福岡県は、同県糸島市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内40例目及び48例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月18日（水曜日）午前0時（1月17日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）福岡県は、令和4年12月19日及び26日に同県糸島市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内40例目及び48例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）福岡県は、令和5年1月12日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、福岡県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月27日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月18日（水曜日）午前0時（1月17日（火曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***宮崎県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内57例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230117_1.html>

　　宮崎県川南町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内57例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）宮崎県川南町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内57例目、1月10日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***新潟県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内59例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230117.html>

　　新潟県上越市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内59例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）新潟県上越市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内59例目、1月13日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***大分県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230117_2.html>

　　本日（1月17日（火曜日））、大分県佐伯市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内60例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：大分県佐伯市

飼養状況：約1.3万羽（肉用鶏）

疫学関連農場：大分県佐伯市（2農場、合計約4.3万羽）

2.経緯

（1）昨日（1月16日（月曜日））、大分県は、同県佐伯市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月17日（火曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**■***NEW***埼玉県深谷市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内38例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230116_3.html>

　　埼玉県は、同県深谷市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内38例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月14日（土曜日）午前0時（1月13日（金曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）埼玉県は、令和4年12月17日に同県深谷市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内38例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）埼玉県は、令和5年1月3日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、埼玉県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月23日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月14日（土曜日）午前0時（1月13日（金曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***岡山県美咲町で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内43例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230116_4.html>

　　岡山県は、同県美咲町で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内43例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月15日（日曜日）午前0時（1月14日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）岡山県は、令和4年12月20日に同県美咲町の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内43例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）岡山県は、令和5年1月8日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、岡山県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月24日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月15日（日曜日）午前0時（1月14日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***茨城県笠間市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内47例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230116_6.html>

　　茨城県は、同県笠間市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内47例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月16日（月曜日）午前0時（1月15日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）茨城県は、令和4年12月22日に同県笠間市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内47例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）茨城県は、令和5年1月10日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、茨城県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月25日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月16日（月曜日）午前0時（1月15日（日曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***長崎県佐世保市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内46例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230116_5.html>

　　長崎県は、同県佐世保市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内46例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月15日（日曜日）午前0時（1月14日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）長崎県は、令和4年12月22日に同県佐世保市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内46例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）長崎県は、令和5年1月9日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、長崎県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月24日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月15日（日曜日）午前0時（1月14日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***鹿児島県出水市及び阿久根市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内27例目、41例目及び45例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230116.html>

　　鹿児島県は、同県出水市及び阿久根市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内27例目、41例目及び45例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月15日（日曜日）午前0時（1月14日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）鹿児島県は、令和4年12月7日に同県出水市の養鶏場において、また、12月19日及び21日に同県阿久根市の養鶏場において、高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内27例目41例目及び45例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）鹿児島県は、令和5年1月9日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、鹿児島県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月24日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月15日（日曜日）午前0時（1月14日（土曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***広島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内58例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230113_4.html>

　　広島県三次市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内58例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）広島県三次市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内58例目、1月10日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***茨城県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内56例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2023/1/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230113_5.html>

　　茨城県城里町で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内56例目）について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）茨城県城里町の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内56例目、1月9日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***令和3年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況について　2023/1/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/230113.html>

　　農林水産省は、農薬の安全かつ適正な使用を推進し、農薬の使用に伴う事故及び被害を防止するため、それらの発生状況について調査を実施しています。この度、令和3年度の結果を取りまとめましたのでお知らせします。

1.調査の目的

農林水産省は、農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況を把握し、より効果的な再発防止策の指導を通じて事故及び被害を防止することを目的として、厚生労働省と連携して、農薬の使用に伴う事故及び被害の実態を把握するための調査を毎年度実施しています。

今回の調査では、令和3年4月から令和4年3月までに発生した農薬による人に対する中毒事故、農作物・家畜等の被害を対象とし、全都道府県に情報提供を依頼し、とりまとめました。

2.調査結果

令和3年度の調査の結果、農薬の使用に伴う人に対する事故は19件でした。また、農作物や魚類の被害は13件でした。

表：令和3年度の農薬の使用に伴う事故及び被害の主な発生状況

事故等の対象 件数 主な原因

人　　　　　　　19件　　・農薬を適切に保管管理しておらず、飲料と間違えて誤飲した（6件

　　　　　　　　　　　　　　　）

・土壌くん蒸剤（クロルピクリン剤）を使用した時に、被覆をしなかった又は何らかの理由で漏洩した（3件）

・農薬の調製又は散布時にマスクやメガネなどの防護装備が不十分だった（2件）

農作物 　　　　　8件　 ・農薬の飛散防止対策が不十分だった

魚類 5件 ・農薬を水路や河川に流出させた

・因果関係は明確ではないが、農薬の成分が河川水又は斃死魚へい

しぎょから検出された

3.今後の対応

これらの事故及び被害を防止するためには、以下の取組を適正に行うことが重要です。

・農薬やその希釈液、残渣等をペットボトル、ガラス瓶等の飲料品の空容器等に移し替えない

・農薬を施錠された場所に保管する

・土壌くん蒸剤を使用した際は、適正な材質や厚さの資材を用いて被覆を完全に行う

・農薬の調製又は散布を行うときは、農薬用マスク、保護メガネ等の防護装備を適切に着用す

　る

・農薬が飛散しないよう風向等に注意し、強風時の散布は控える

・飛散が少ないと考えられる剤型を選択したり、飛散低減ノズルを使用したりするなど、飛散防止対策を十分に行う

・廃棄物処理業者に依頼するなど、使用残農薬や不要になった農薬を適正に処理する

農林水産省は、農薬の安全かつ適正な使用を一層推進するため、都道府県に今回の調査結果を送付するとともに、事故及び被害を防止するための指導を徹底するよう依頼しました。今後も、「農薬危害防止運動」等の機会を活用し、農薬の使用に伴う事故及び被害の防止に向けて、引き続き農薬の適正使用の推進に取り組んでまいります。

また、本調査は、令和4年度分以降も引き続き実施いたします。

4.公表資料

「令和3年度農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況」及び過去の調査結果については、当省ホームページから御覧になれます。

　URL：<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/accident.html>

＜添付資料＞

・（別紙）農薬の使用に伴う事故及び被害の発生状況（平成29年度～令和3年度）(PDF : 89KB)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/attach/pdf/230113-1.pdf>

・中毒発生時の状況や防止策などの詳細情報(PDF : 169KB)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/attach/pdf/230113-2.pdf>

お問合せ先

消費・安全局農産安全管理課農薬対策室　担当者：濵砂、上野

代表：03-3502-8111（内線4500）　ダイヤルイン：03-3501-3965

**■***NEW***宮崎県日向市で発生した高病原性鳥インフルエンザ（国内44例目）に係る移動制限の解除について　2023/1/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230113_3.html>

　　宮崎県は、同県日向市で確認された高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内44例目）に関し、発生農場から半径3km以内で設定している移動制限区域について、令和5年1月13日（金曜日）午前0時（1月12日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

1.経緯及び今後の予定

（1）宮崎県は、令和4年12月21日に同県日向市の家きん農場において高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン国内44例目）が発生したことを受け、家畜伝染病予防法に基づき、移動制限（発生農場の半径3km以内の区域）及び搬出制限（発生農場の半径3kmから10kmまでの区域）を設定しました。

（2）宮崎県は、令和5年1月6日に当該搬出制限を解除しました。

（3）今般、宮崎県は、全ての発生農場の防疫措置が完了した令和4年12月22日の翌日から起算して21日が経過する令和5年1月13日（金曜日）午前0時（1月12日（木曜日）24時）をもって、当該移動制限を解除しました。

**■***NEW***新潟県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2023/1/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/230113.html>

　　本日（1月13日（金曜日））、新潟県上越市の家きん農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内59例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を持ち回りで開催し、今後の対応方針について決定しました。

1.農場の概要

所在地：新潟県上越市

飼養状況：約10.5万羽（採卵鶏）

2.経緯

（1）昨日（1月12日（木曜日））、新潟県は、同県上越市の農場から、死亡羽数の増加がみられる旨の通報を受けて、農場への立入検査を実施しました。

（2）同日、当該家きんについて鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ陽性であることが判明しました。

（3）本日（1月13日（金曜日））、当該家きんについて遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認しました。

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***消費者安全法に基づく重大事故等以外の消費者事故等の事故情報データバンク登録について(1月19日)**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031867/>

　　消費者安全法第12条第2項により消費者庁に通知のあった下記の消費者事故等の情報を、事故情報データバンクに登録することとしましたので、お知らせします。

公表資料

消費者安全法に基づく重大事故等以外の消費者事故等の事故情報データバンク登録について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms201_230119_02.pdf>

**■***NEW***消費者契約法及び消費者の財産的被害の集団的な回復のための民事の裁判手続の特例に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令(案)等に関する意見募集の結果の公示について(e-Gov[イーガブ]サイトへリンク)**

**(結果公示日:令和5年1月18日(水))**

<https://public-comment.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCM1040&id=235030044&Mode=1>

**■***NEW***キリンビバレッジ株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について　2023/1/18**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/031801/>

　　消費者庁は、本日、キリンビバレッジ株式会社に対し、同社が供給する「トロピカーナ 100% まるごと果実感 メロンテイスト」と称する果実ミックスジュースに係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。

公表資料

キリンビバレッジ株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について[PDF:1.2 MB]

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_cms207_230118_01.pdf>

**キリンビバレッジ株式会社に対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について**

**消費者庁は、本日、キリンビバレッジ株式会社（以下「キリンビバレッジ」といいます。）に対し、同社が供給する「トロピカーナ １００％ まるごと果実感 メロンテイスト」と称する果実ミックスジュースに係る表示について、景品表示法第８条第１項の規定に基づき、課徴金納付命令（別添参照）を発出しました。**

**１ 違反行為者の概要**

**名 称 キリンビバレッジ株式会社（法人番号 6010001014934）**

**所 在 地 東京都千代田区神田和泉町１番地**

**代 表 者 代表取締役 吉村 透留**

**設立年月 昭和３８年４月**

**資 本 金 ８４億１６５０万円（令和５年１月現在）**

**２ 課徴金納付命令の概要**

1. **課徴金対象行為（違反行為）に係る商品**

**「トロピカーナ １００％ まるごと果実感 メロンテイスト」と称する果実ミックスジュース（以下「本件商品」という。）**

**⑵ 課徴金対象行為**

**ア 表示媒体**

**容器**

**イ 課徴金対象行為をした期間**

**令和２年６月９日から令和４年４月１３日までの間**

**ウ 表示内容（別紙）**

**「厳選マスクメロン」、「Ｔｒｏｐｉｃａｎａ® ＲＥＡＬ ＦＲＵＩＴ ＥＸＰＥＲＩＥＮＣＥ まるごと果実感」、「１００％ ＭＥＬＯＮ ＴＡＳＴＥ」等と、別表「表示内容」欄記載のとおり表示することにより、あたかも、本件商品の原材料の大部分がメロンの果汁であるかのように示す表示をしていた。**

**エ 実際**

**原材料の９８パーセント程度はぶどう、りんご及びバナナの果汁を用いており、メロンの果汁は２パーセント程度しか用いていないものであった。**

**⑶ 課徴金対象期間令和２年６月９日から令和４年９月２８日までの間**

**⑷ 景品表示法第８条第１項ただし書に該当しない理由**

**キリンビバレッジは、本件商品について、不当表示の防止等を図るための表示内容の確認を十分に行うことなく、前記⑵の課徴金対象行為をしていた。**

**⑸ 命令の概要（課徴金の額）**

**キリンビバレッジは、令和５年８月２１日までに、１９１５万円を支払わなければならない。**

**■***NEW***景品表示法検討会の報告書を公表しました　2023/1/13**

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/representation/meeting_materials/review_meeting_004/assets/representation_cms212_230113_01.pdf>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★マミーマート「mami+EL　脂肪0プレーンヨーグルト」 - 返金／回収　通常商品と比較し粘度が低い商品があったため　2023/1/19**

**★首舜「ベビーコーン水煮」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：2023.8.2）　2023/1/18**

**★加藤産業「韓国ジャバンのり」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2923年9月29日、正：2023年9月29日）　2023/1/18**

**★長崎堂「十二単」 - 返金／回収　外箱の賞味期限2023.01.23の製品に、一部個包装賞味期限23.01.09の製品が混入　2023/1/18**

**★かしわ堂「落花せん」 - 交換／回収　原材料として使用している落花生に通常の風味と異なるものが一部混入していたことが判明　2023/1/18**

**★丸久「国産牛豚合い挽きミンチ」 - 返金／回収　青色のビニール片がミンチ肉に混入　2023/1/18**

**★北島水産「えびいかミックス 220g」 - 返金／回収　軟質プラスチック異物混入の可能性があるため　2023/1/17**

**★イオン「ベストプライス　鮭とば」 - 交換／回収　賞味期限の誤表示（誤：22023.2.28、正：2023.2.28）　2023/1/17**

**★仁々木「薔薇のぶっせ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：22.1.14、正：23.1.14）　2023/1/17**

**★ホクレン商事（シャトレーゼ苫小牧店）「ベルギーショコラダブルシュークリーム、エクレールショコラ」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：23.2.2、正：23.1.12）　2023/1/17**

**★仁々木「りんごの福」 - 返金／回収　アレルゲン「乳成分」の表示欠落　2023/1/17**

**★オリエントコマース「ロマニコオーガニックエキストラヴァージンオリーブオイル」 - 交換／回収　賞味期限の誤表示（誤：28.8.31、正：24.8.31）　2023/1/16**

**★YHC「レバー刺し」 - 回収命令　食品衛生法で定める規格基準に適合しない方法で製造された商品を販売　2023/1/16**

**★交洋「イカリングフライ」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：2024.5.22）　2023/1/16**

**★マルカ食品「国産なすからし漬」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：23.12.18、保存温度-18℃以下、正：23.01.18、保存温度10℃以下）　2023/1/16**

**★合食「おいしい減塩　くんさき」 - 返金／回収　容器膨張および香味変化の可能性があるため　2023/1/13**

**★高見澤「3種アソートチーズ」 - 返金／回収　賞味期限の表示欠落（本来の賞味期限：23.04.19）　2023/1/12**

**★神戸物産「グレープモラセス」 - 返金／回収　一括表示に記載のない保存料（安息香酸）が検出されたため　2023/1/12**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8068a715873c6ec58e1b8a24b767bfef42745261>

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■キッチンカーで食中毒　福島県が３日間の営業停止処分**

**1/17(火) 21:20配信　福島テレビ　福島県磐梯町**

**調査中**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/28231744440927b530c62d398d18b8c4059c8ad5>

**１　食中毒等に関する行政処分等【公表日：令和５年１月１７日】　福島県磐梯町**

**調査中**

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045e/syokuhinneiseihouihann.html>

施設の名称 Resta ～arakawa farm～

営業者氏名 荒川　翔太

施設所在地等 耶麻郡磐梯町（キッチンカーによる営業を行った場所）

業種等 飲食店営業（自動車による営業）

主な違反条項 食品衛生法第６条第３号

行政処分等を行った理由

上記施設が令和５年１月１３日に調理・提供したポークサンド（推定）により食中毒を発生させたため

行政処分等の内容及び措置状況等　食品衛生法第６０条第１項に基づく営業停止命令

処分年月日：令和５年１月１７日

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/549550.pdf>

食中毒の発生について

令和５年１月１３日、会津保健所は、管内の消防指令センターから「磐梯町内の事業所の従業員１名が昼食後に嘔吐、下痢等の消化器症状を呈しているため、会津若松市内の医療機関に救急搬送している」旨の連絡を受け、調査を開始しました。

調査の結果、複数グループの患者５名に共通する食事が下記のキッチンカーで調理・提供された食事に限られること等から、下記のとおり食中毒と断定しましたので、お知らせします。

記

１ 原因施設 名 称 Ｒｅｓｔａ～ａｒａｋａｗａｆａｒｍ

出店場 所 耶麻郡磐梯町内

営業の許可 飲食店営業（自動車による営業）

２ 原因食品 １月１３日に調理・提供されたポークサンド（推定）

３ 病因物質 調査中

４ 発症日時 １月１３日１５時００分頃 ～ １月１３日１６時３０分頃

５ 患 者 数 ５名【男性２名（２０歳代）、女性３名（２０歳代２名、４０歳代１名）】

うち入院１名（退院済み）、通院２名 ※現在、快方に向かっています。

６ 主 症 状 嘔気、嘔吐、腹痛、下痢

７ 行政措置 営業停止 令和５年１月１７日から１月１９日まで（３日間）

※営業者は、令和５年１月１４日から営業を自粛しています。

８ 調査機関 会津保健所、衛生研究所

【食中毒の発生件数及び患者数】

本 年 現 在 １件 ５名

令和４年同期 ０件 ０名

令 和 ４ 年 中 ５０件 ６２名

**■カレーを食べて食中毒　原因は「ウエルシュ菌」煮込み料理で発生　調理後はなるべく早く食べて　富山・射水　1/17(火) 16:18配信　チューリップテレビ　富山県射水市**

**ウエルシュ菌**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6e499519046c8969c0671f399ce09df6fd727c0b>

**■食中毒の発生について　（令和５年１月１４日（土） 午後１０時３０分現在）　福岡県福岡市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/2785/1/230114shokuchudokunohasseinituite.pdf?20230114112910>

　１ 探知

令和５年１月７日（土）、佐賀県健康福祉部生活衛生課から食品安全推進課に、「唐津市の住民が福岡市中央区内の飲食店を利用し食中毒様症状を呈している」旨の連絡があったもの。

２ 概要

令和５年１月２日（月）午後７時30分頃から福岡市中央区の飲食店で串焼き等を喫食した１グループ４名のうち３名が、１月４日（水）午前７時から５日午後７時頃にかけて下痢、発熱、腹痛等の食中毒様症状を呈した。

調査の結果、中央区保健福祉センター（中央保健所）は、当該施設が提供した食事が原因のカンピロバクター食中毒と断定し、１月14日（土）午前11時から２日間の営業停止処分とした。

３ 症状　下痢、発熱、腹痛等

４ 摂食者数　４名

５ 有症者数（判明分） ２０代男性３名

※うち２名が医療機関を受診(入院者なし)。

※重症者はおらず全員快方に向かっている。

６ 検査

（１）有症者便 ：３検体…２検体からカンピロバクター・ジェジュニ検出

（２）施設従業員便 ：２検体…検査中

（３）施設ふきとり ：３検体…食中毒菌陰性

７ 原因施設

（１）営業所所在地 福岡市中央区今泉一丁目 18 番 28 号 アペゼ今泉１Ｆ-Ａ-１

（２）営業者氏名 株式会社 caudex 代表取締役 岡本 朋

（３）屋 号 居酒屋 akari

（４）業 種 飲食店営業

８ 原因食品　当該施設が令和５年１月２日（月）に提供した食事

鶏串焼き（レバー、もも、ハラミ、ぼんじり、ハツ、砂ズリ）、フライドポテト、枝豆、焼きおにぎり

　　※ 有症者からレバーが加熱不十分だったとの報告あり。

９ 原因施設に対する指導事項

（１） 加熱用の食肉は中心部まで十分に加熱すること。

（２） 食器や器具類の洗浄、消毒を徹底すること。

（３） 手洗いは適切に実施すること。

（４）HACCP の考え方を取り入れた衛生管理を行うこと。

10 措置処分

中央区保健福祉センター（中央保健所）は、以下の理由により当該施設が提供した食事が原因のカンピロバクター食中毒と断定し、１月 14 日（土）午前 11 時から１月 16 日（月）午前11 時までの２日間（48 時間）の営業停止処分とした。

（１）有症者３名の共通食は当該施設が提供した食事のみであること。

（２）有症者３名が同時期に発症していること。

（３）有症者３名中２名の便からカンピロバクター・ジェジュニが検出されたこと。

（４）潜伏時間及び症状がカンピロバクターによる食中毒と一致すること。

（５）医師から食中毒患者等届出票により届出があったこと。

〈参考〉福岡市における令和４年及び令和５年食中毒発生状況

障子, 屋外, 光, 水 が含まれている画像

自動的に生成された説明

**★ウイルスによる食中毒★**

**■大津市の飲食店でノロウイルス原因の食中毒　01月16日　21時35分　滋賀 NEWS WEB**

**滋賀県大津市**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/otsu/20230116/2060012399.html>

**食中毒事件の発生について（令和 5 年第 1 号） 　2023/1/16**

**大津市内において食中毒事件が発生しましたのでお知らせします。滋賀県大津市**

**ノロウイルス**

<https://www.city.otsu.lg.jp/material/files/group/4/230116pre.pdf>

発生日時 令和 5 年 1 月 8 日（日）18 時 00 分

（初発）～1 月 10 日（月）11 時 30 分（終発）

発生場所 大津市、京都市、大阪市、東京都

発症者等　発症者数 ： 9 人 内訳 男性 ：6 人（10 代～60 代）女性：3 人（20 代～80 代）

当日施設利用者数 ： 86 組 230 人（イートイン）、22 組（テイクアウト）

発生状況

（概要）

令和 5 年 1 月 11 日 9 時 30 分頃、市民から「家族が 1 月 7 日（土）に市内飲食店を利用し、嘔吐、発熱を発症した。一緒に食事をした友人 3 人も嘔吐や下痢の症状があるため、食中毒ではないかと思っている。」との連絡が大津市保健所にありました。

大津市保健所が調査を行った結果、1 月 7 日に市内飲食店が提供した食事を食べた 3グループ 9 人が同様の症状を呈していることが判明しました。患者に共通する食事は当該施設が提供した食事のみであること、患者の発症状況が類似しており、患者の症状がノロウイルスによる食中毒の症状と一致していること、患者及び従事者検便検査で同ウイルスが検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、大津市保健所は、当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定しました。

症 状

　軽 症 :9 人　中 等 症 :0 人　重 症 :0 人

嘔吐、嘔気、下痢、頭痛、倦怠感、発熱（37.4～38℃）、悪寒、腹痛等

現在の病状 全員快方に向かっている。

献立内容

寿司（まぐろ、サーモン、海老、いか、いわし、鯖、鯛、穴子、いくら、くえ、ぶり、うなぎ、ずわい蟹、鉄火巻き、ねぎとろ軍艦、つぶ貝バター醤油、ほたてバター、いなり等）、刺身盛合わせ、天ぷら盛合わせ、赤だし等

原因食品　令和 5 年 1 月 7 日に原因施設が提供した食事

病因物質 ノロウイルス

原因施設

施設所在地 ： 大津市

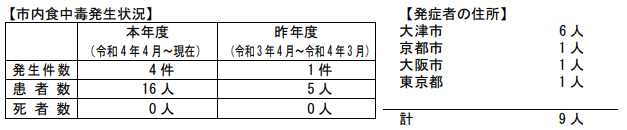
施設名称 ： にぎり長次郎膳所店

業 種 ： 飲食店営業

措 置

大津市保健所は、上記施設を令和 5 年 1 月 16 日（月）から 1 月 17 日（火）までの 2日間の営業停止処分としました。なお、当該施設は 1 月 14 日（土）から営業を自粛しています。

検査材料 微生物検査 ：35 検体 〔糞便 ：22 検体、ふきとり : 13 検体〕



**■とんかつ店の出前でノロウイルス食中毒　群馬・高崎市**

**2023/1/13 17:00　上毛新聞　群馬県高崎市**

**ノロウイルス**

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/227950>

**■【山形】ノロウイルス食中毒・仕出し弁当で39人が下痢や吐き気　東根市**

**1/13(金) 12:28配信　さくらんぼテレビ　山形県東根市**

**ノロウイルス**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/a5fe7008fe8fa5752e2e112a726b58134b6235f0>

**【行政情報追加】鮮魚店を３日間の営業停止に 仕出し弁当で食中毒 東根市　01月12日　20時37分**

**山形 NEWS WEB****山形県東根市**

**ノロウイルス**

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/yamagata/20230112/6020016377.html>

　　今月６日、東根市の鮮魚店が調理した仕出し弁当を食べた男女３９人がおう吐や下痢などの症状を訴え、一部の人からノロウイルスが検出されたことから、県は食中毒と断定し、この店を１２日から３日間の営業停止処分としました。

営業停止処分を受けたのは、東根市の鮮魚店で仕出し弁当の調理や販売を行っている「鮮魚いちき」です。

県によりますと、今月６日にこの店の仕出し弁当を食べた１０代から６０代までの男女３９人が、おう吐や下痢などの症状を訴えたということです。

このうち１１人が医療機関で手当を受けたということですが、重症者はいないということです。

村山保健所が調べたところ、１５人からノロウイルスが検出されたことから、県はこの鮮魚店が調理した仕出し弁当が原因の食中毒と断定しました。

県は、この店を１２日から３日間の営業停止処分とし、ほかにも症状の出た人がいないか確認を進めています。

県によりますと、ノロウイルスによる食中毒は今シーズン初めてだということで、調理の前やトイレのあとは手洗いを徹底するとともに、まな板や包丁などの洗浄や消毒を行うよう呼びかけています。

**ノロウイルス食中毒の発生について　20231/12　山形県東根市**

**ノロウイルス**

<https://www.pref.yamagata.jp/documents/31733/pressr050112.pdf>

　令和５年１月 10 日(火)、東根市内の医療機関から、食中毒症状を呈している患者を診察した旨の連絡が村山保健所にあり、調査の結果、ノロウイルスによる食中毒と断定しました。

なお、患者はほぼ回復しています。

　１ 発生状況概要

　　発 症 日 時 令和５年１月７日（土）正午～

摂 食 者 数 80 名 （調査中）

患 者 数 ３グループ 39 名（男性 14 名、女性 25 名）10 代～60 代 （調査中）

患 者 住 所 東根市、天童市、村山市、山形市、寒河江市 （調査中）

受 診 者 数 11 名 （調査中）

入 院 患 者 0 名

症 状 おう吐、下痢、発熱、腹痛

原 因 施 設

　　　 名 称 鮮魚 いちき

所在地 東根市

　原 因 食 品 １月６日に当該施設が提供した 仕出し弁当

　病因物質 ノロウイルス

２ 調査結果

患者らに共通する食事は、1 月 6 日（金）に上記施設が提供した仕出し弁当のみであり、主な症状及び潜伏期間がノロウイルス食中毒の特徴と一致していた。

検便検査の結果、本日、調理従事者１名と患者 15 名からノロウイルスが検出された。

３ 対応

村山保健所では、当該施設を原因とする食中毒と断定し、本日から 3 日間（１月 12 日～14 日）の営業停止を命じるとともに、原因食品や汚染経路等の調査、衛生指導を行っ

ている。

なお、当該施設は、１月 11 日(水)から営業を自粛している。



**★寄生虫による食中毒★**

**■次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します。　2023/1/17　福岡県福岡市**

**アニサキス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20230117.html>

　１　事件の探知

　令和５年１月１６日（月）、福岡市の医療機関から、刺身等を食べて食中毒様症状を呈した糟屋郡の患者を診察し、胃アニサキス症と診断した旨、福岡市に届出があり、本県に通報があった。

２　概要

　　粕屋保健福祉事務所が調査したところ、１月１４日（土）及び１５日（日）に複数のスーパーで購入した刺身等を自宅で喫食し、１６日（月）午前２時頃から食中毒症状を呈していることが判明した。

　現在、同事務所において、食中毒疑いとして調査を進めている。

３　発生日時 判明分：令和５年１月１６日（月）午前２時頃

４　摂食者数　調査中　判明分：２名

５　症状　判明分：腹痛、吐気

６　有症者数　調査中　判明分：１名（４０代男性）

　医療機関を受診しているが、入院はしていない。

重篤な症状は呈しておらず、ほぼ回復している。

７　原因施設、原因食品、病因物質

　　（１）原因施設：調査中

　（２）原因食品：調査中

　（３）原因物質：アニサキス

８　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１月１７日現在。調査中の事件を除く。）

跡, 電車, 座る, レール が含まれている画像

自動的に生成された説明

**■食品等取扱い施設に対する行政処分　2013/1/17　神奈川県相模原市**

**アニサキス**

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kenko/shokuhin/1007409.html>

　行政処分の内容

　公表年月日　令和5年1月17日

業種等　飲食店営業

施設の名称及び営業者氏名等

（施設の名称）江戸前鮨　銀時

施設所在地等　相模原市

主な適用条項　第6条第3号

不利益処分等を行った理由　食中毒

不利益処分等の内容　営業の一部停止1日間

備考

原因食品：令和5年1月6日に調理、提供した寿司

病因物質：アニサキス

1月7日から患者1名が腹痛、吐き気

**■次のとおり食中毒（疑い）が発生したので発表します　2023/1/13　福岡県太宰府市**

**アニサキス**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/syokuchudoku20230113-2.html>

　１　事件の探知

　　令和５年１月１２日（木）、太宰府市の医療機関から、刺身等を食べて食中毒様症状を呈した福津市の患者を診察し、胃アニサキス症と診断した旨、筑紫保健福祉環境事務所に届出があった。

２　概要

　　患者の住所を所管する宗像・遠賀保健福祉環境事務所が調査したところ、１月１０日（火）に福津市の販売店で購入した刺身を自宅で喫食、１１日（水）に福岡市の飲食店で寿司を喫食し、１２日（木）午前７時頃から食中毒症状を呈していることが判明した。

　現在、同事務所において、食中毒疑いとして調査を進めている。

３　発生日時　調査中 判明分：令和５年１月１２日（木）午前７時頃

４　摂食者数　調査中　判明分：１名

５　症状　調査中　判明分：腹痛、吐気

６　有症者数　調査中　判明分：１名（２０代男性）

医療機関を受診しているが、入院はしていない。

重篤な症状は呈しておらず、ほぼ回復している。

７　原因施設、原因食品、病因物質

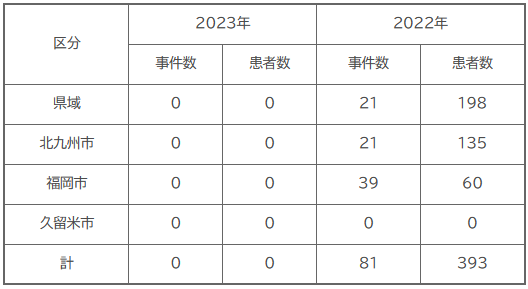
　（１）原因施設：調査中

　（２）原因食品：調査中

　（３）原因物質：アニサキス

８　その他

〈参考〉県下における食中毒の発生状況（１月１３日現在。調査中の事件を除く。）



**■令和5年発生状況　2023/1/11　山形県**

**アニサキス**

<https://www.pref.yamagata.jp/020071/kurashi/shoku_anzen/syokuchuudoku/r5jokyou.html>

　発生年月日　2023/1/9

　管轄保健所　置賜

　探知年月日　2023/1/11

　原因施設　南陽市

　摂食者数　4

　患者数　1

原因施設　不明

原因食品　ブリの刺身（推定）

病因物質　アニサキス

**★自然毒による食中毒★**

**■**

**★化学物質による食中毒★**

**■**

**★細菌による感染症★**

**■**

**★ウイルスによる感染症★**

**■**

**★その他の感染症★**

**■**

**★違反食品★**

**■牛のレバー刺し　加熱不十分で県が回収命令**

**01月13日　21時23分　福岡 NEWS WEB**

<https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20230113/5010018773.html>

**食品衛生法で定める規格基準に適合しない方法で製造された牛レバー加工品の回収について**

**発表日：2023年1月13日　福岡県川崎町**

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/ihanshokuhin20230113.html>

　次のとおり違反事例が発生したので発表します。

１　概要

　令和５年１月１０日（火）、神戸市から食品分類が不明確な食品が確認されたとして調査依頼があった。

　　これを受けて、令和５年１月１１日（水）及び１２日（木）に、田川保健福祉事務所が製造所の調査を実施したところ、食品衛生法で定める規格基準に適合しない方法で加熱食肉製品（包装後加熱）が製造されていることを確認した。このため、本日、同事務所は同法に基づき当該食品の製造者に対する行政処分を行った。

２　製造者の氏名、住所

製造者氏名：YHC合同会社 代表社員 李 竜圭

製造者住所：福岡県田川郡川崎町

３　違反内容　食品衛生法第13条第２項違反

　（食品、添加物等の規格基準に適合しない方法で加熱食肉製品（包装後加熱）を製造し、販売したこと。）

４　行政処分

（１） 食品衛生法第59条の規定に基づく回収命令

　　　　回収対象食品 　ア 名称　レバー刺し（原材料名欄に低温調理済みと記載。）

　　　　　　　　　　　 イ 製造者　YHC合同会社

　　　　　　　　　　　　　　　　（食品表示には販売者であるミートミーツ合同会社と記載。）

　　　　　　　　　　　 ウ 製造期間　令和４年１２月１２日から令和５年１月１１日まで

　　　　　　　　　　　 エ 保存方法　要冷凍（－１８℃で保存）

　　　　　　　　　　　 オ 販売数量　調査中

５　当該製造者に対する指導

（１）速やかに製品を回収し、廃棄すること。

（２）回収している旨をホームページ等で消費者に対し周知すること。

（３）回収完了後、速やかに回収報告書を提出すること。

６　許可の取得状況　食肉販売業、飲食店営業、食品の冷凍又は冷蔵業

　なお、本製品は食肉製品であるが、食肉製品製造業の許可を取得していなかったため、製造販売を直ちに中止するよう指導済み。

　【参考】　食品衛生法で定められた加熱食肉製品（包装後加熱）に関する規格基準

　食品、添加物等の規格基準（抜粋）

　D「食肉製品」２（２）４．加熱食肉製品

　　加熱食肉製品は、次の規格に適合する方法で製造しなければならない。

　　ａ 製品は、その中心部の温度を 63°で 30 分間加熱する方法又はこれと同等以上の効力を有する方法（魚肉を含む製品であって気密性のある容器包装に充てんした後殺菌するものにあっては、その中心部の温度を 80°で 20 分間加熱する方法又はこれと同等以上の効力を有する方法）により殺菌しなければならない。

　ｂ 加熱殺菌後の冷却は、衛生的な場所において十分行わなければならない。この場合において、水を用いるときは、流水（食品製造用水に限る。）で行わなければならない。

　　ｃ 加熱殺菌した後容器包装に入れた製品にあっては、冷却後の取扱いは、衛生的に行わなければならない。

資料

食品衛生法で定める規格基準に適合しない方法で製造された牛レバー加工品の回収について

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/181810.pdf>

**★その他関連ニュース★**

**■【感染症情報】インフルエンザが6週連続で増加 - RSウイルス感染症は4週連続で減少**

**1/17(火) 15:40配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/877dd8ce85460377ef4634989452b3abfec38a0c>

**■デング熱輸入例、2022年は前年の12.4倍 - 感染研が情報更新、推定感染地はベトナムが最多　1/16(月) 20:50配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/20a57fbbada807652e5f95e56ebf3e7e3840f8f7>

**■在宅酸素吸入引火事故10カ月間で死亡・重症6件 - 厚生労働省が集計公表、喫煙が原因のケースも　1/16(月) 20:05配信　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/bb8f64f67224178977886c8b126e5276cbbbeb5e>

**■インフルエンザ患者報告数が前週比2.3倍に - 厚労省が発生状況公表、2－8日の1週間**

**1/13(金) 16:50配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/11cbb4f0acd3de653ef44235cb6180f4716d7472>